

# 岡山県感染症週報 2014 年 第 33 週 (8 月 11 日～ 8 月 17 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

## ◆2014 年 第 33 週 (8/11～8/17) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第 33 週 2 類感染症 結核 6 名 (50 代 女 1 名、60 代 男 1 名、80 代 男 2 名・女 1 名、90 代 女 1 名)  
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O 型別不明 : 70 代 男)

### ■定点把握感染症発生状況

○ヘルパンギーナは、県全体で 73 名 (定点あたり 1.43 → 1.35 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

1. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第 33 週に 1 名の報告があり、2014 年累計報告数は 54 名となりました。岡山県では、8 月 1 日「[腸管出血性大腸菌感染症 警報](#)」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. [ヘルパンギーナ](#)は、県全体で 73 名 (定点あたり 1.43 → 1.35 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、備北地域 (3.75 人)、真庭地域 (3.50 人) で患者報告数が増加しています。全国の第 32 週発生状況は、定点あたり 3.72 人で前週より減少しました。地域別では、長野県 (10.06 人)、山形県 (9.97 人)、新潟県 (9.26 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、警報基準値の 6 人を超える流行となっています。北海道や東北地方などの東日本で患者が増加しており、西日本で報告の多かった 7 月初旬に比べ、流行地域が東日本へとシフトしています。この感染症は、例年 8 月頃まで流行がみられますので、今後も県内の発生状況に注意するとともに、感染予防に努めてください。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	➡	
咽頭結膜熱	⬇	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬆	★
感染性胃腸炎	➡	★★	水痘	⬆	★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	⬆	★
突発性発疹	➡	★★	百日咳	⬆	
ヘルパンギーナ	➡	★	流行性耳下腺炎	⬆	★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	⬆	
細菌性髄膜炎	➡		無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	➡		クラミジア肺炎	➡	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡				

【記号の説明】 前週からの推移:   
 ⬇ : 2 倍以上の減少    ⬆ : 1.1～2 倍未満の減少    ➡ : 1.1 未満の増減  
 ⬆ : 1.1～2 倍未満の増加    ⬆ : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし    ★: 僅か    ★★:少し    ★★★:やや多い    ★★★★:多い    ★★★★★:非常に多い  
 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。  
 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

**夏休み期間中に海外へ渡航する方向けの感染症情報が、  
厚生労働省のホームページからご覧いただけます。**

海外には、日本国内に通常存在しない感染症があります。安全で快適な海外旅行をするためには、出発前にあらかじめ渡航先の衛生状況や感染症に関する情報を入手しておくことが大切です。渡航先では感染に気をつけ、帰国時に体調不調があれば空港の検疫所に相談しましょう。また、帰国後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は渡航先も伝えましょう。

☆ [夏休み期間中における海外での感染症予防について](#)（厚生労働省ホームページ）

☆ [夏休みに海外へ渡航される皆さまへ!](#)（厚生労働省検疫所ホームページ）

保健所別報告患者数 2014年 33週 (2014/08/11～2014/08/17)

2014年8月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	2	0.14	13	1.18	2	0.20	-	-	-	-	-	-	6	1.00
感染性胃腸炎	236	4.37	31	2.21	92	8.36	34	3.40	16	2.29	19	4.75	4	2.00	40	6.67
水痘	25	0.46	2	0.14	15	1.36	-	-	5	0.71	1	0.25	1	0.50	1	0.17
手足口病	26	0.48	3	0.21	16	1.45	3	0.30	1	0.14	-	-	1	0.50	2	0.33
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
突発性発疹	20	0.37	4	0.29	4	0.36	6	0.60	1	0.14	1	0.25	1	0.50	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	73	1.35	12	0.86	13	1.18	6	0.60	17	2.43	15	3.75	7	3.50	3	0.50
流行性耳下腺炎	8	0.15	2	0.14	-	-	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 33週 (2014/08/11～2014/08/17)

2014年8月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	2	0.14	13	1.18	2	0.20	-	-	-	-	-	-	6	1.00
感染性胃腸炎	236	4.37	31	2.21	92	8.36	34	3.40	16	2.29	19	4.75	4	2.00	40	6.67
水痘	25	0.46	2	0.14	15	1.36	-	-	5	0.71	1	0.25	1	0.50	1	0.17
手足口病	26	0.48	3	0.21	16	1.45	3	0.30	1	0.14	-	-	1	0.50	2	0.33
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	73	1.35	12	0.86	13	1.18	6	0.60	17	2.43	15	3.75	7	3.50	3	0.50
流行性耳下腺炎	8	0.15	2	0.14	-	-	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2014年 第33週 2014/08/11~2014/08/17 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	12	-	2	3	2	-	1	1	3	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	-	-	-	1	5	4	1	1	2	3	6	-	-	
感染性胃腸炎	236	4	28	33	36	20	16	13	12	10	9	7	20	5	23
水痘	25	-	2	5	1	10	2	1	1	1	1	-	1	-	
手足口病	26	-	-	9	7	2	4	2	2	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	20	-	14	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	73	2	6	17	14	8	10	5	4	3	2	-	1	1	-
流行性耳下腺炎	8	-	-	1	1	-	1	1	-	1	1	1	1	-	-

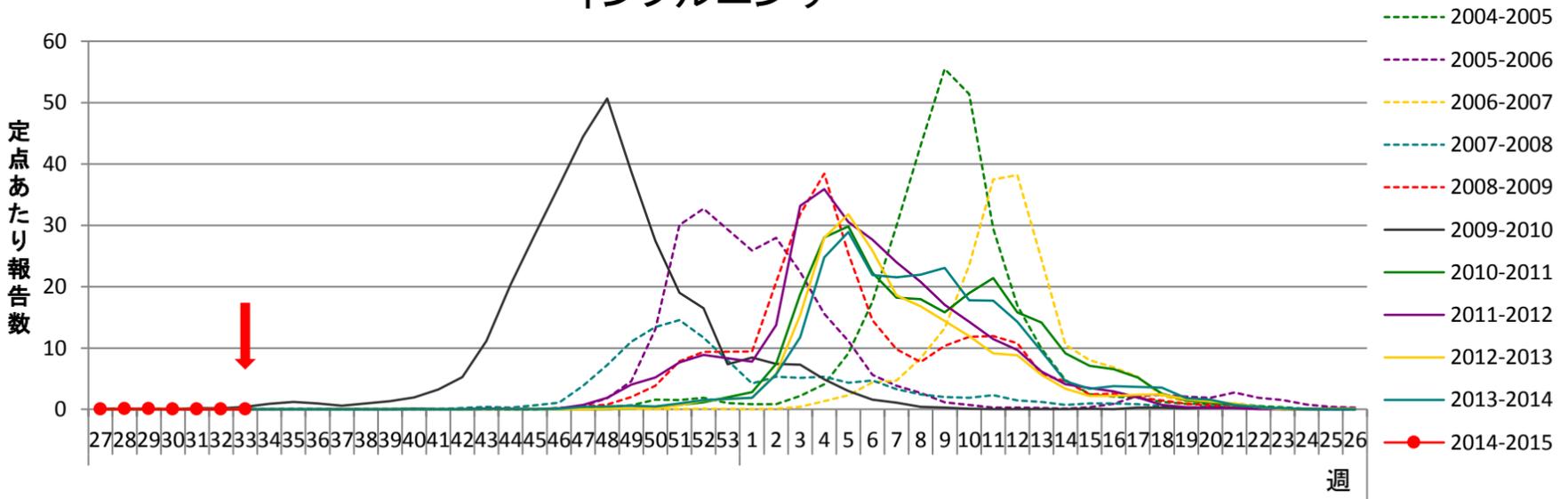
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

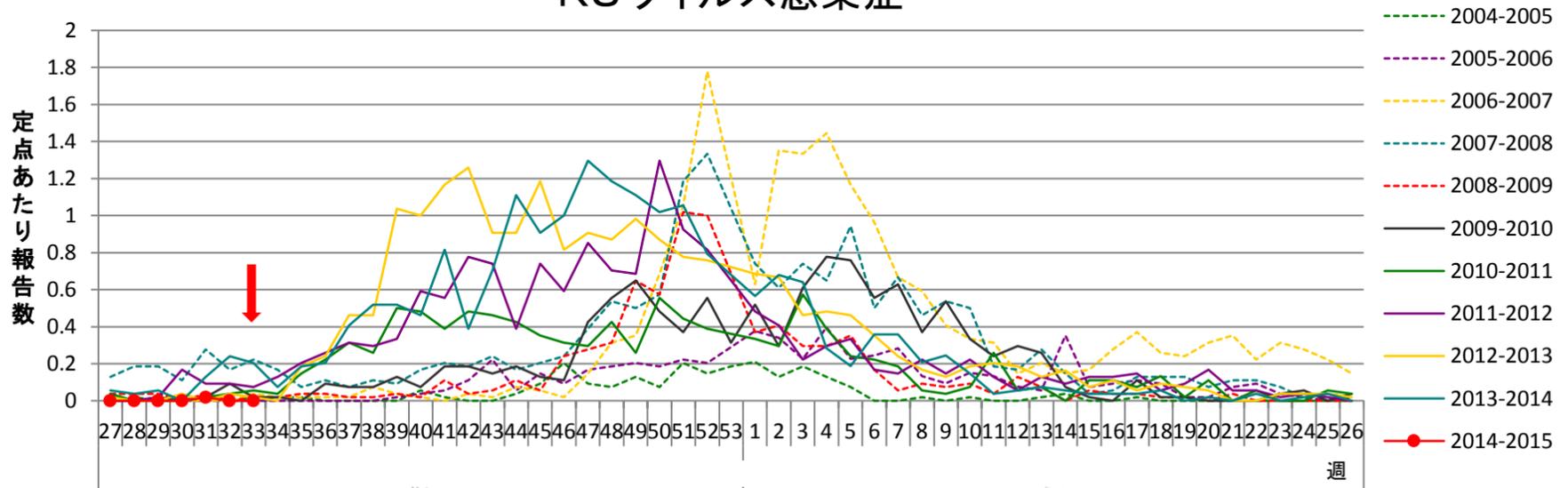
( - : 0 )



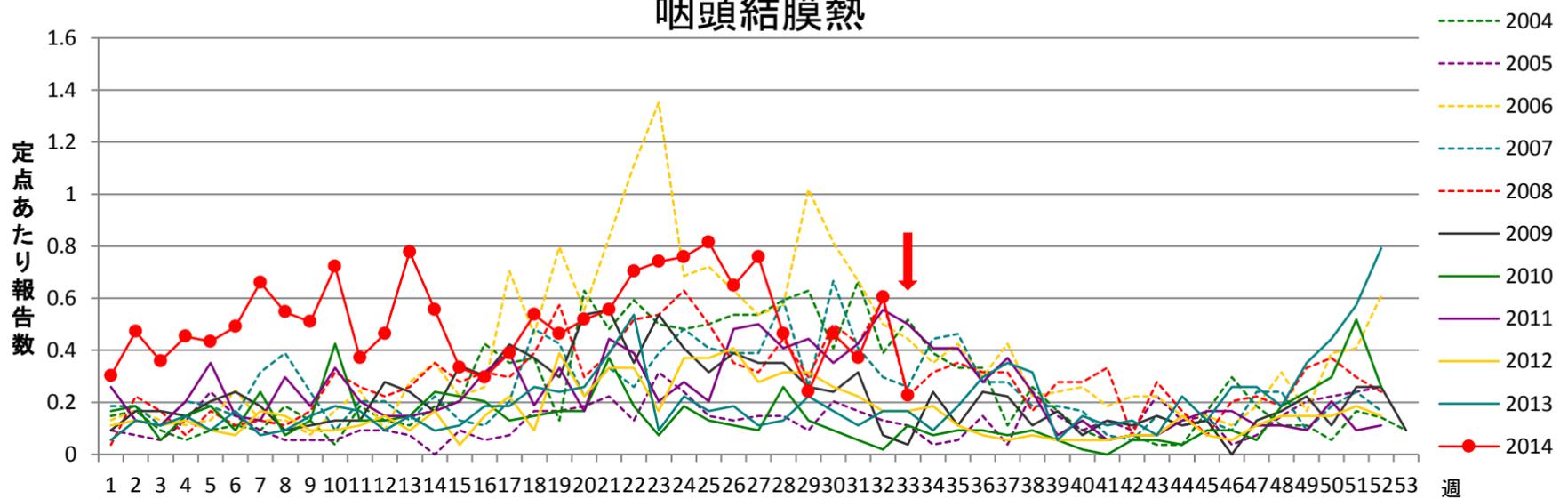
### インフルエンザ



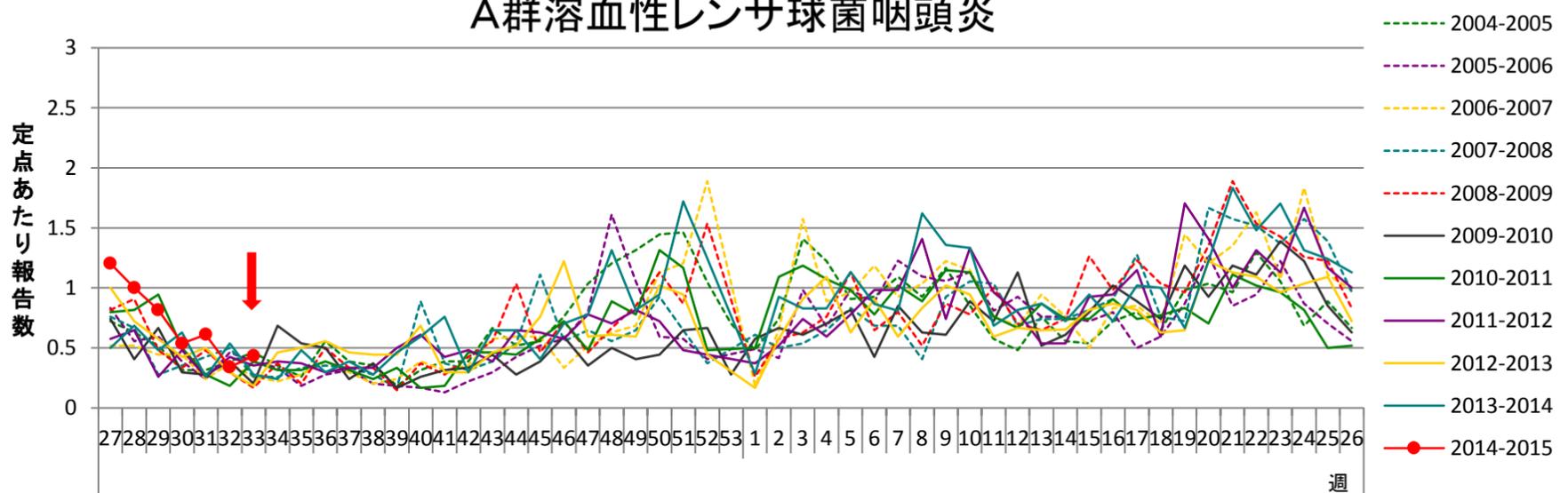
### RSウイルス感染症



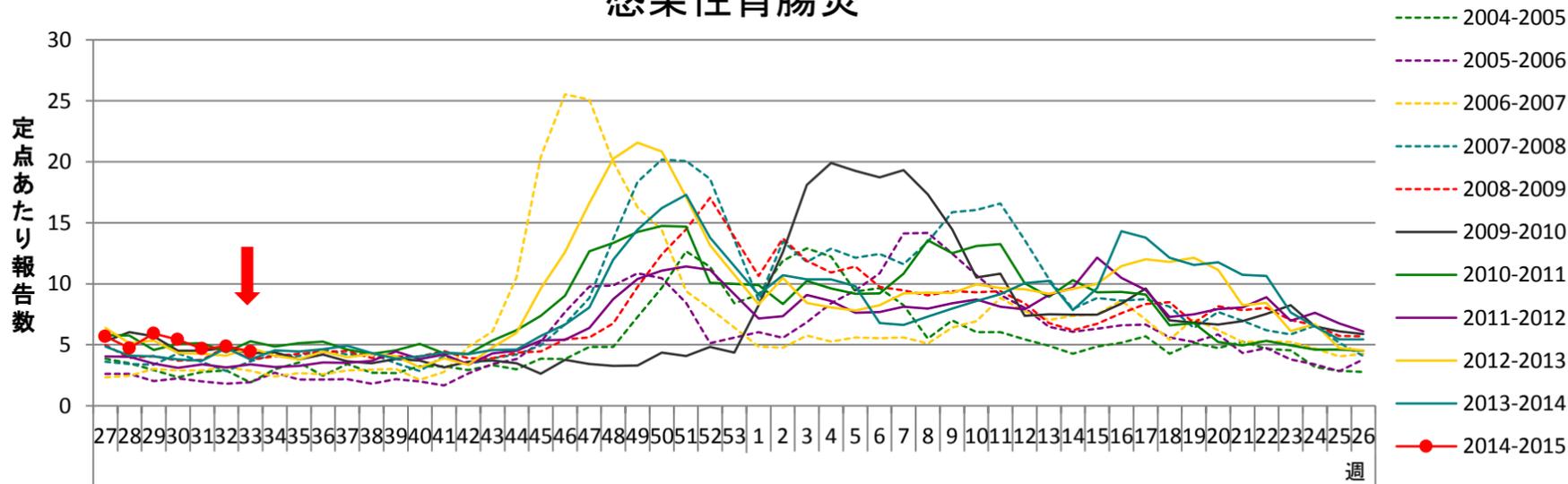
### 咽頭結膜熱



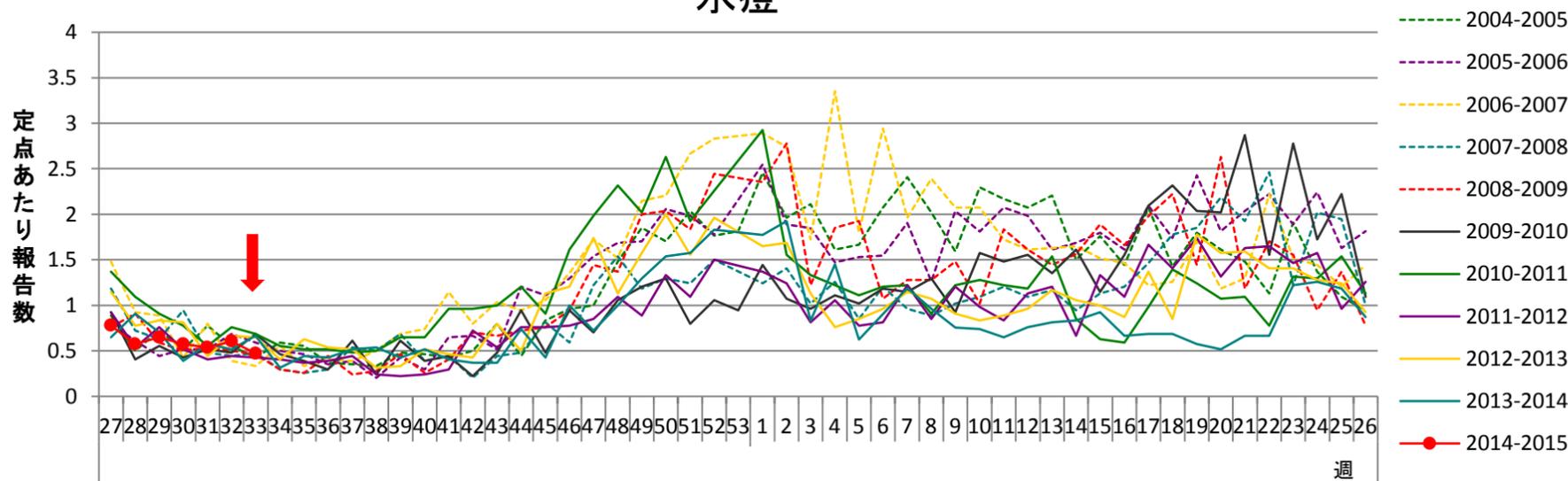
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



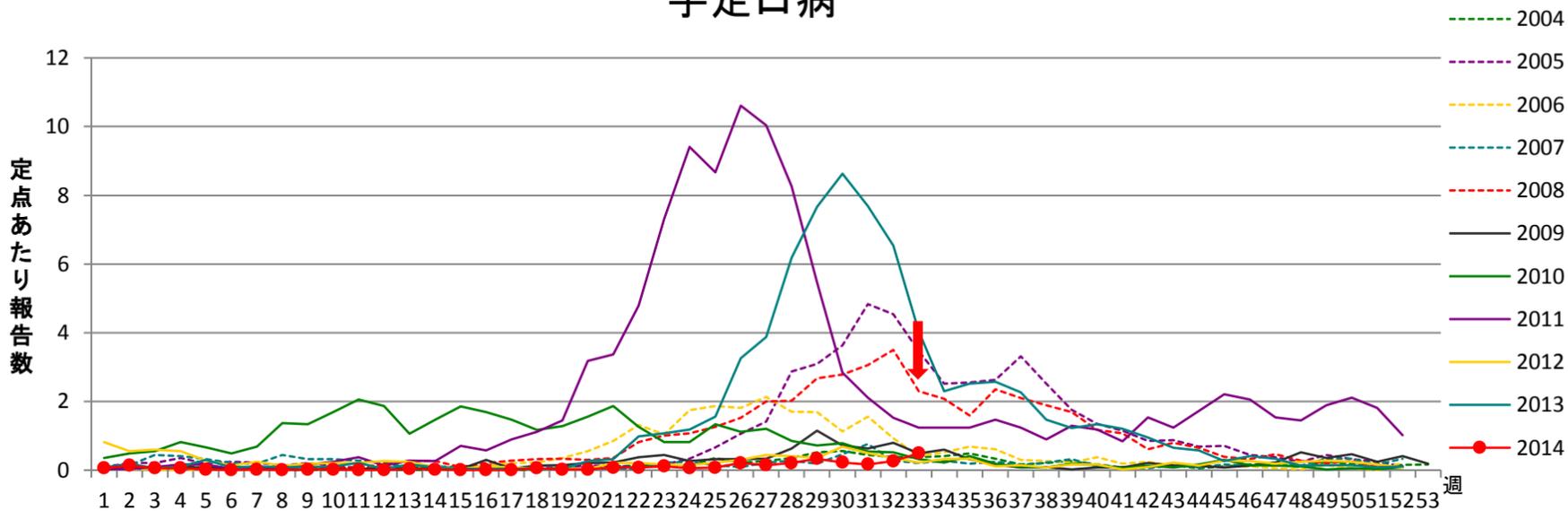
### 感染性胃腸炎



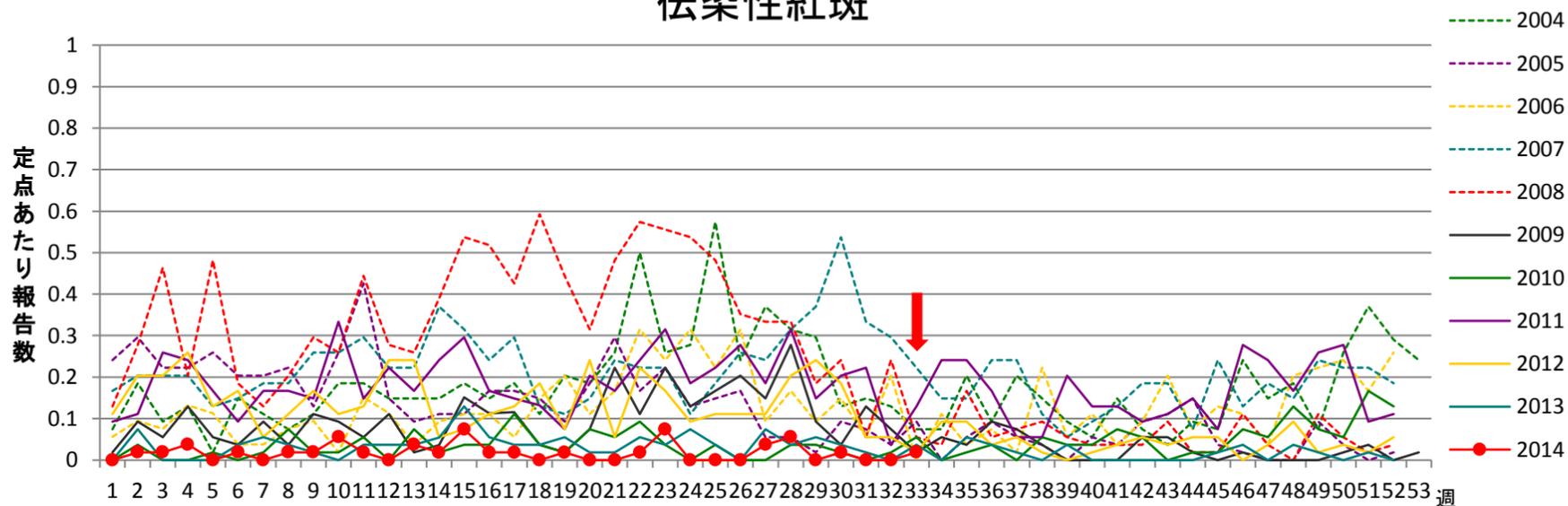
### 水痘



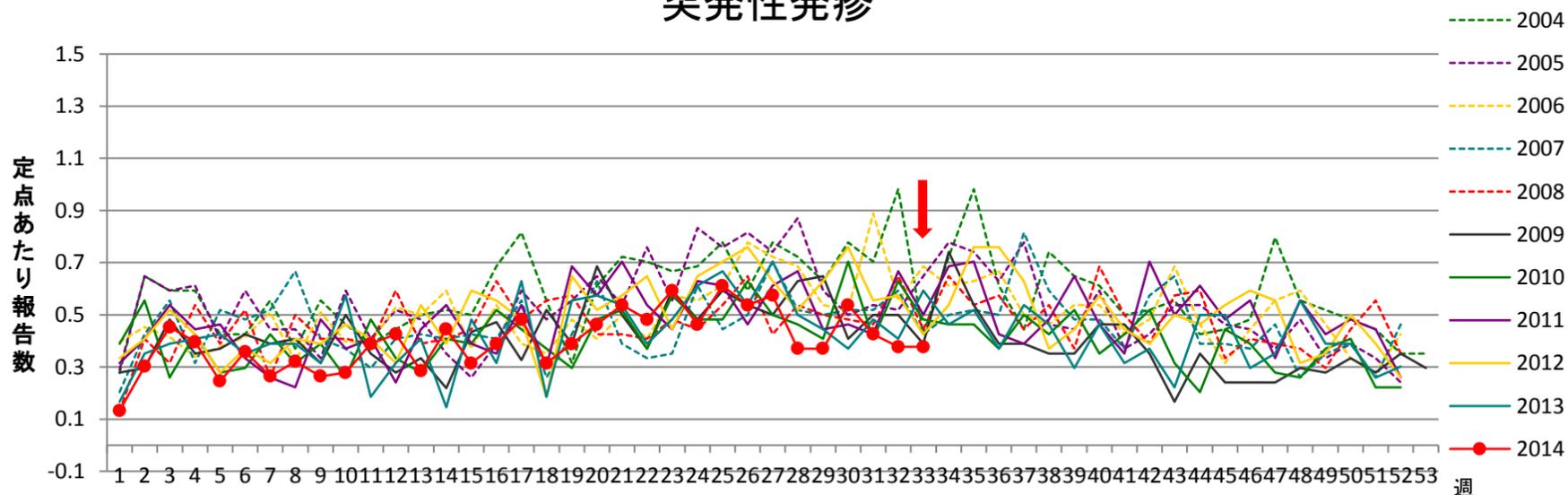
### 手足口病



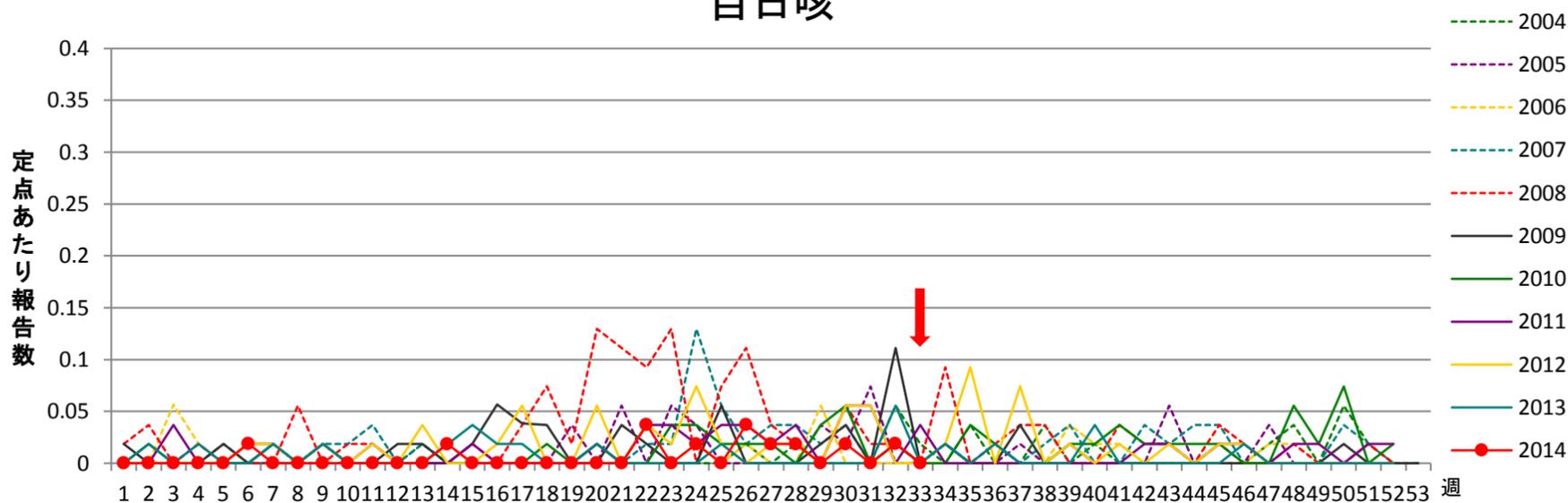
### 伝染性紅斑



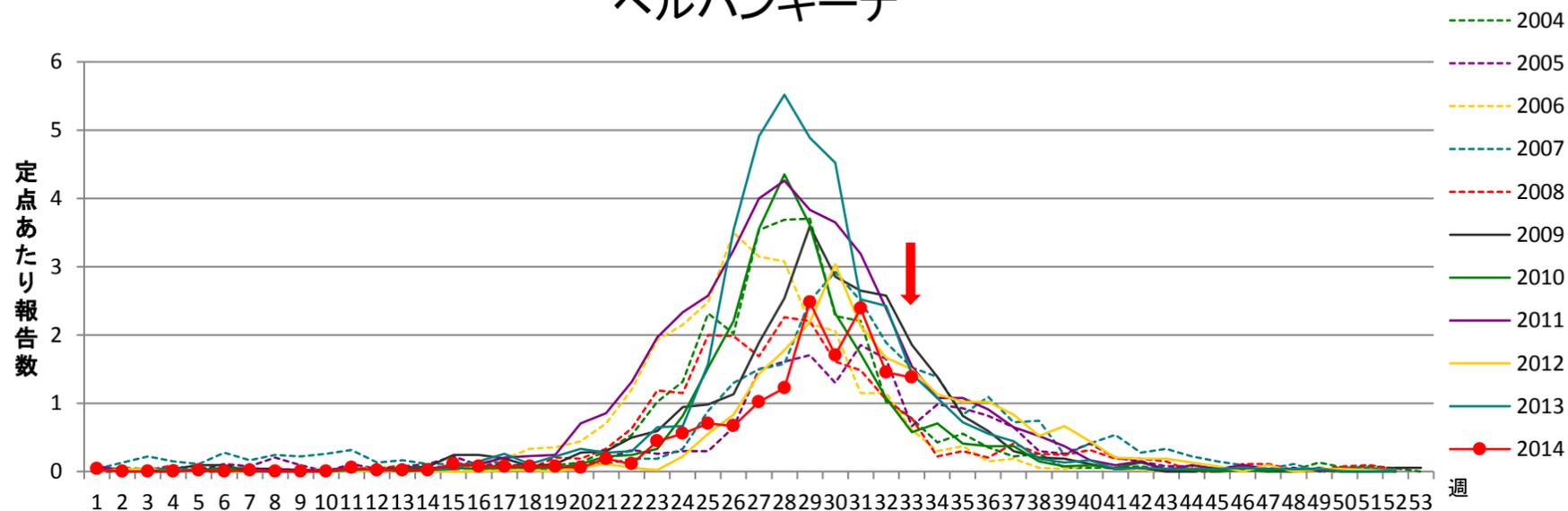
### 突発性発疹



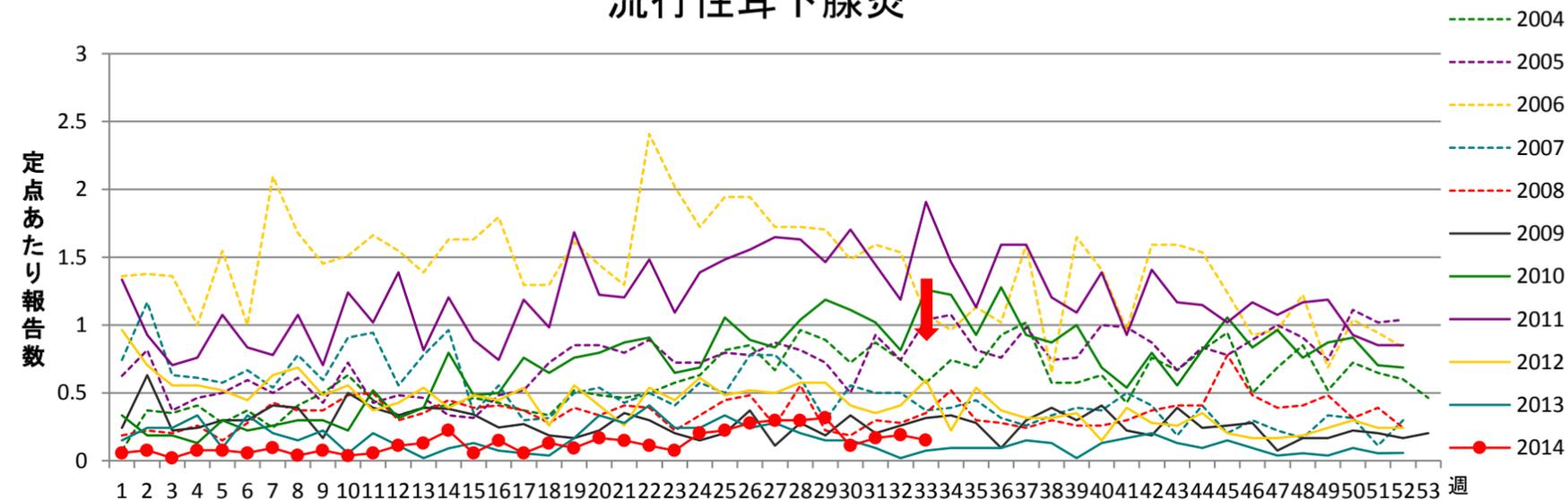
### 百日咳



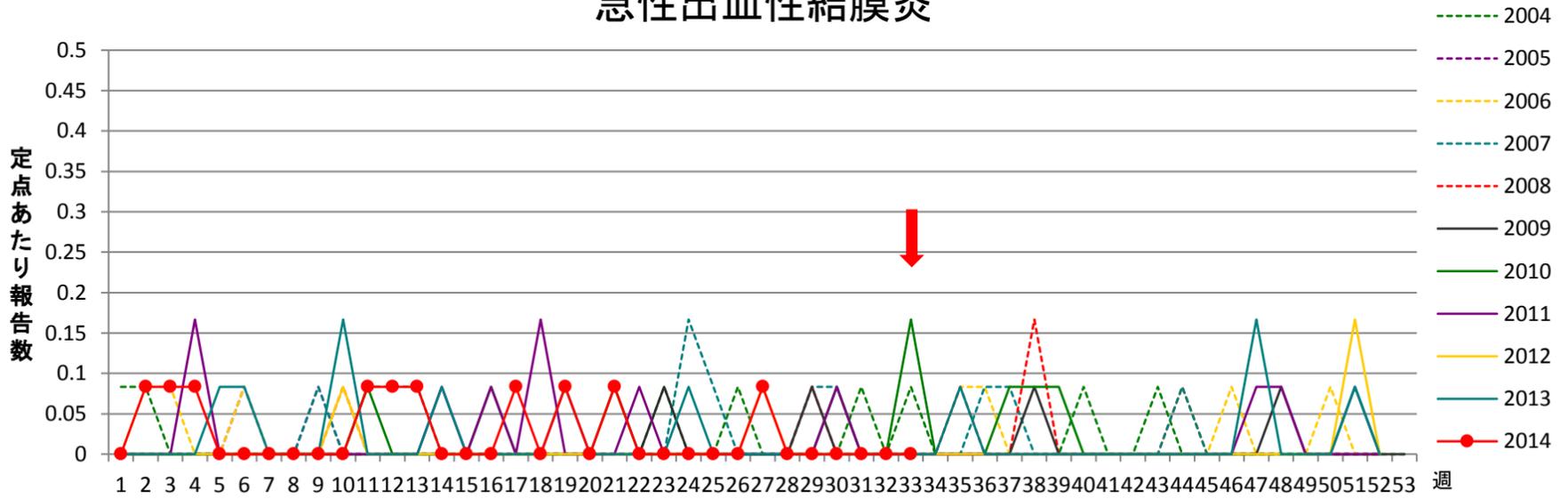
### ヘルパンギーナ



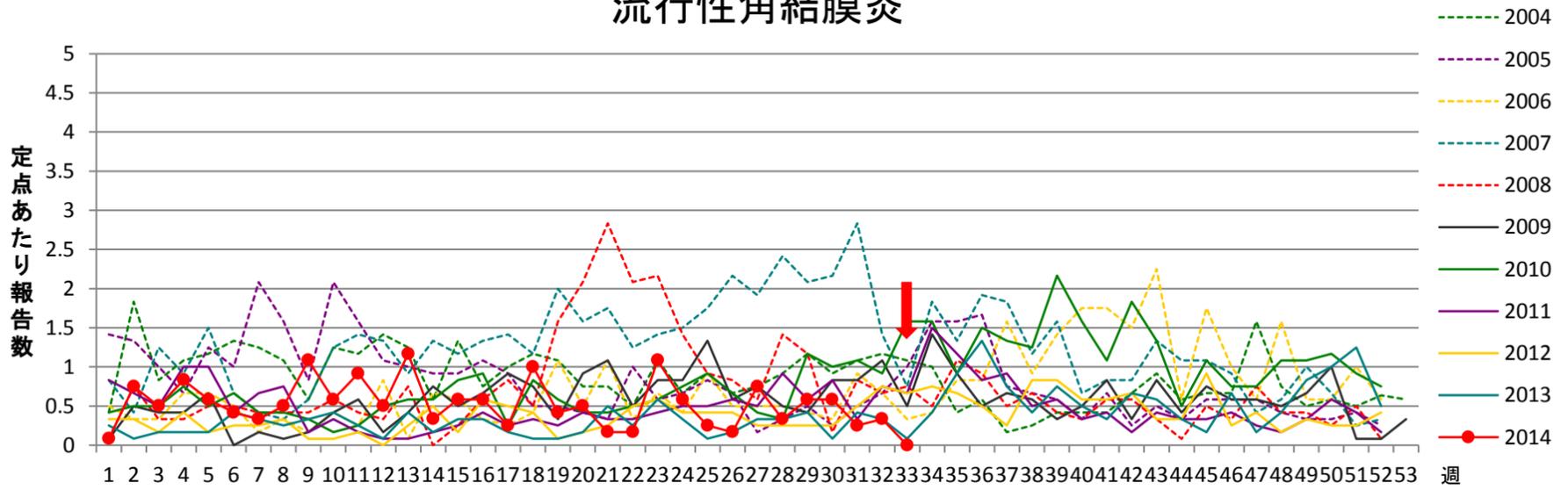
### 流行性耳下腺炎



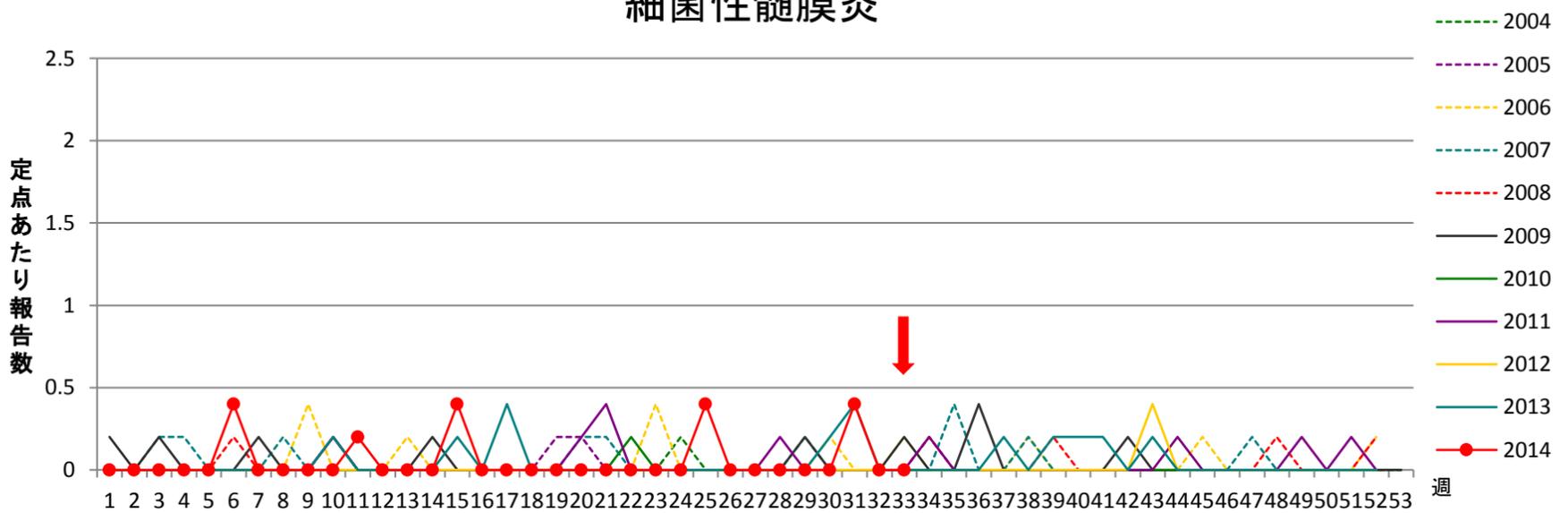
### 急性出血性結膜炎



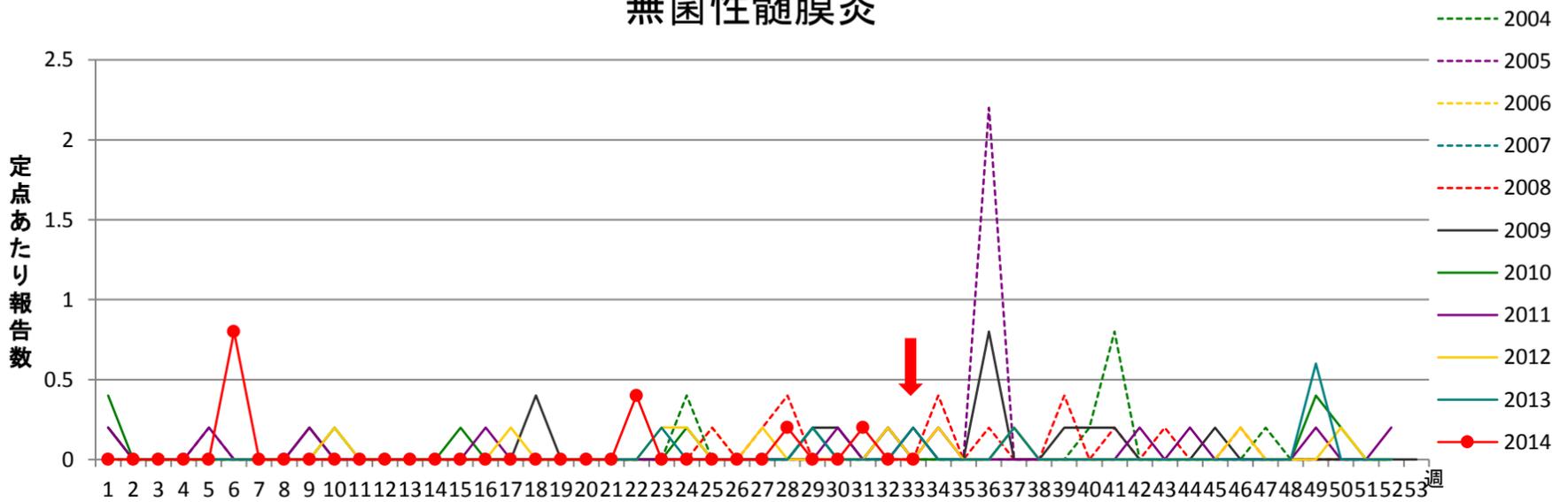
### 流行性角結膜炎



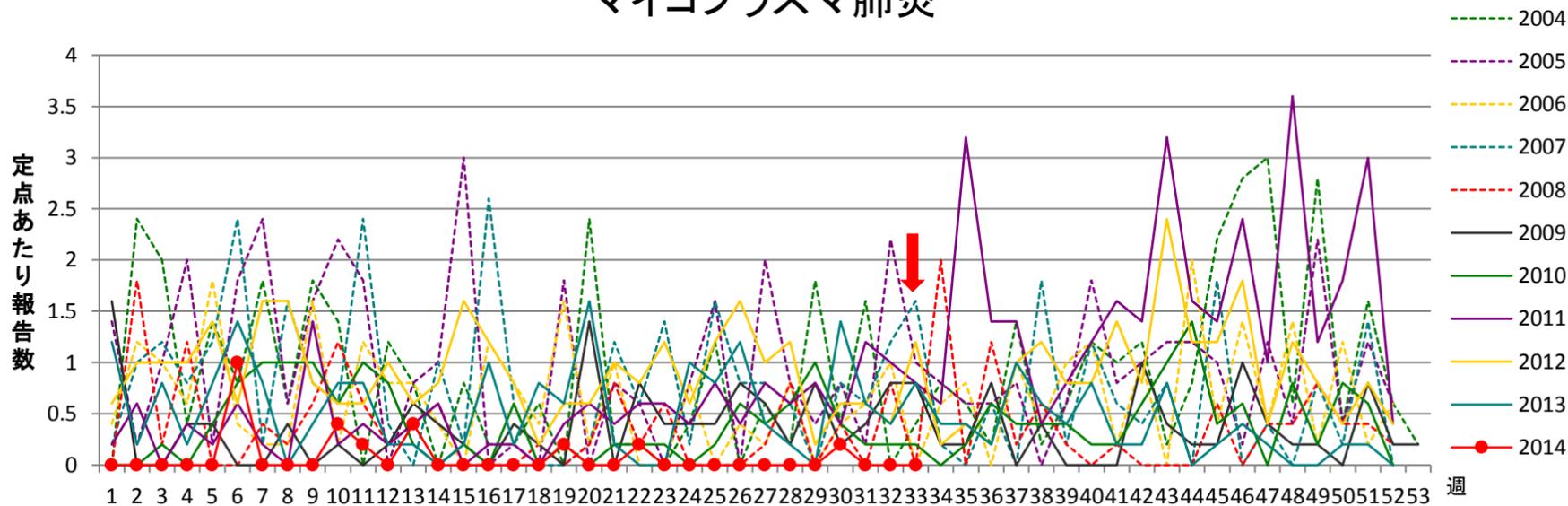
### 細菌性髄膜炎



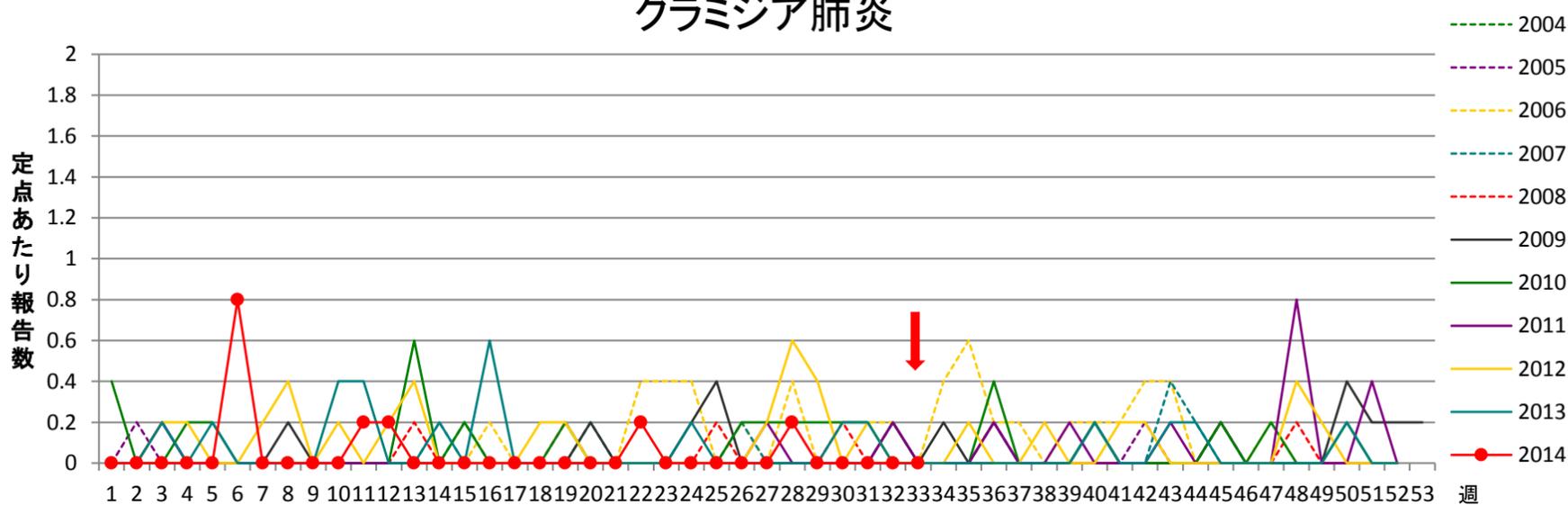
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

